

Q採用されると??

【採用されると】

採用されると、消防局でまず業務に必要な内容の研修を一定期間行います。その後各所属に配置され、消火活動などの消防業務、市民に対しての消防訓練や建物への立入り検査等の予防業務、救急車の支援業務等に従事していただきます。また、全寮制のもと、埼玉県消防学校の初任教育に6ヶ月間入校していただきます。派遣の時期は採用後に確定します。

【休暇等について】

年次有給休暇は年度で20日与えられます。その他夏季休暇、特別休暇（結婚、病気等）がございます。その外女性職員については妊娠休暇や産前・産後休暇、育児休暇等の制度も利用できます。

【給貸与品について】

仕事に必要なものは、支給されます。制服や防火服はもちろんTシャツやYシャツなど仕事で使うものほとんどです。

【給与について】

予定初任給（地域手当を含む）は平成28年度現在で
大学卒区分 209,934円、
短大卒区分 188,897円、
高校卒区分 175,599円です。
その他配属後には各種勤務手当が支給されます。

【昇進・昇任について】

昇進・昇任は、厳正公平な競争試験によって行われます。本人の努力次第で昇進・昇任の道は開かれます。昇進・昇任について男女の区別はありません。

【人材育成について】

川口市消防局は、人材育成に積極的に取り組んでおります。外部研修機関へ積極的に職員を派遣し、習得した知識や技術を組織に還元しております。また、仕事に必要な各種資格（大型自動車免許、小型船舶免許、潜水士免許等）も公費補助で取得可能です。

Q試験をうけるには??

【採用試験は】

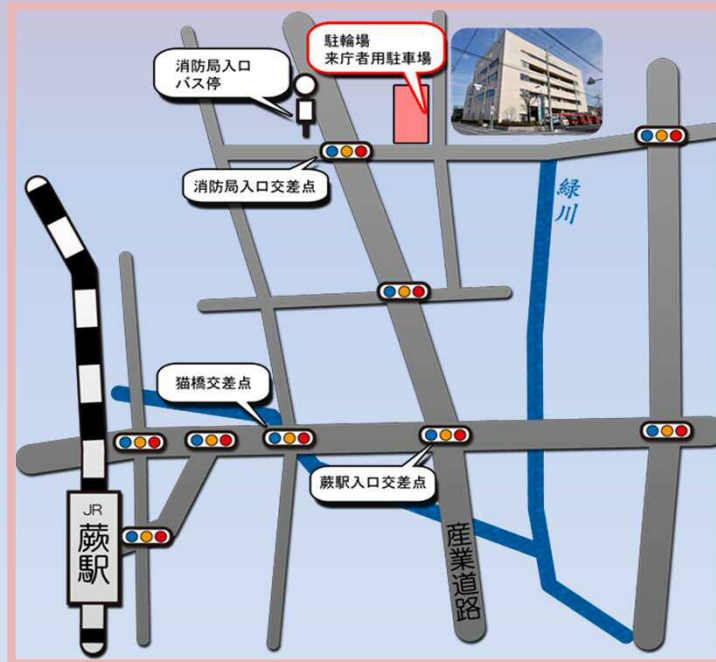
消防局の採用試験は、川口市職員採用試験全体で行われています。募集時期になりますと川口市のホームページ等で採用試験の詳細が記されます。

試験は、学科試験、面接試験、体力試験等で実施されます。体力試験については、女性の体力基準の指標を用いて実施いたします。

【居住地の制限は】

採用試験を受けることに関しては、国内であれば居住地の制限はありません。ただし、採用されますと、川口市に通えることが条件となります。また、川口市消防局には待機宿舍がございますので、居住希望の遠方者を優先して入居を受け付けております。

募集人員や試験実施日程等川口市ホームページをご確認ください。



【採用問合せ先】

333-0848

埼玉県川口市芝下2-1-1

川口市消防局

消防総務課 職員係

TEL 048-261-3119 FAX 048-261-5955

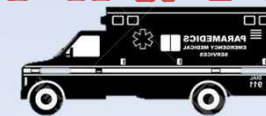
URL <http://www.kawasho119.jp/>

K.C.F.D.

For Women

To be a
FIRE "Wo"MAN

KAWAGUCHI
CITY
FIRE
DEPARTMENT



Q消防局の仕事って??

【勤務時間について】

消防局では毎日勤務者と交代制勤務者がいます。本部職員等の毎日勤務者は、8時30分から17時15分までの勤務で、土日祝日の休みです。消防隊、救助隊、救急隊等の交代制勤務者は、8時30分から翌日の8時30分までの拘束時間のなかで15時間30分勤務します。(ただし災害出場等が発生しますと勤務時間はこの限りではありません。)交代制勤務者は下記のような勤務サイクルで仕事をします。4週間で8日間の週休日が与えられます。

【交代制勤務の勤務例】

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
勤務	非番	勤務	非番	勤務	非番	週休	週休	勤務	非番	勤務	非番	週休	週休

Q女性の仕事って??

【職種について】

消防局では現在19名(平成28年4月現在)の女性職員が様々な場面で活躍しております。

火災現場や各種災害現場で活動する消防隊、市民を医療機関に搬送し、救急医療の最前線で活動する救急隊、119番通報を受けて、迅速、適切に指令を出す通信指令員、日勤者では総務や財政を担当する総務課、管理課職員、火災を未然に防ぐ予防課職員、市民へ救急の普及啓発に取り組む救急課職員等様々な場面で活躍しております。

【働く環境について】

現在まで、女性が働く環境を整備して参りました。交代制勤務者は24時間勤務であるため、特定の署に女性専用の仮眠室、トイレ、浴室等設置されております。現在(平成28年)、北消防署、南消防署横管根分署、南消防署南平分署、南消防署安行分署が当直可能となっております。

～ちょっと小話～

交代制勤務の消防職員は24時間の集団生活のため、署によっては自分たちで食事を作ってます。

先輩職員の料理の腕前はかなりのもので、プロ級の方もいます。

おかげで、毎勤務美味しい食事をいただけます。

料理教室に通うより、実践的ですよ。(笑)

一緒に女子力上げましょう!



名物のかきあげ

うどんは職員のソウルフード

みんなで囲む食卓は、緊張を癒すとても楽しいひと時です。

～消防局で働く女性職員の声～

南消防署安行分署 消防第1係救急隊 菊池 馨(平成26年度入庁)



Q消防を目指したきっかけは?

菊池: 私は以前は「これをやりたい!」といった夢がなく、父が公務員であったため、漠然と人の役に立つ公務員を志望しておりました。母が看護師をしており、救急隊と関わって仕事をしているため、仕事の話を書くようになって、消防という仕事に興味が出てきて「私もやってみよう!」と思うようになりました。それがきっかけです。

Q仕事を始めて一番印象的な事は?

菊池: 私の初めての救急出動が、経産婦の出産でした。以前から女性が女性に對してできることを考えてはいましたが、現場で緊張してしまったのを覚えます。しかし、私の尊敬する女性救急隊長が的確に指示してくれたので、無事に活動することができました。出産を目の当たりにした事はとても印象的でした。

Qこれからの夢は?

菊池: 私の所属にいる女性の金澤救急隊長のような存在になりたいと思っています。女性だからできることをして、多くの方に安心していただき、喜んでいただきたいと思っています。



消防総務課 財務係 南 朋代(平成23年度入庁)



Q消防を目指したきっかけは?

南: 公安職に興味を抱いていたころ、たまたま手に取った採用案内に、女性消防職員の紹介文が掲載されていました。“消防=男性の職場”というイメージを持っていただけ、衝撃を受け消防職員を志願しました。しかし、受験するものの合格に至らず、一度他の公安職に従事しました。ある災害現場で消防と連携した際、「人命救助をしたい」という気持ちがあったものの、主な活動は消防に任せなくてはならず、じれったい思いになり、再受験し今に至ります。

Q仕事を始めて一番印象的な事は?

南: なによりも、火災現場です。入庁1年目の真冬に出動した炎上火災は、まるで猛暑日と思えるような現場でした。他にも、救急隊として出動した火災現場では、救助隊の先輩方が炎上中の建物2階から要救助者を救出し、私達救急隊に引き継ぎました。どちらも“一番”をつき難い危険との隣り合わせの状態で、緊張感の走る現場であり忘れられない記憶です。

Q休みの日は?

南: 消防学校の同期とのみに行ったり、アロマオイルマッサージでリンパを流し身体を癒したり、または、平日に録画したドラマ等をまとめて観ています。

Q仕事をしての印象は?

南: 私は採用後すぐに消防学校へ入校し、その後消防隊、救急隊を経て現在の事務職に就いています。女性職員は他にも、指揮隊、通信指令といったように、幅広い業務に携わっており、想像以上に男性とほぼ同じ勤務体制が整っていると感じています。

救急課 救急指導係

森 万梨子(平成20年度入庁)

Q消防を目指したきっかけは?

森: 高校生のときに友人が体育の授業中に倒れ、救急車で運ばれたことがきっかけです。当時、AEDは一般市民による応急手当に含まれておらず、もちろん学校にも設置されていませんでした。そのことで、“人の命を救うこと”に興味を持ち、救急救命士を目指し、現場で助けを求めている市民を救いたいと思うようになり、救急救命士として活躍できる消防に入庁しました。

Q子育てと仕事の両立について?

森: 私には、3歳と5歳の娘がいます。普段は娘たちを保育園に預け、仕事をしています。仕事は大変ですが、保育園からの帰り道にその日の出来事を子どもたちと話す時間が好きです。また、週末には家族でスーパーに行ったり、公園で遊んだり……。どこの家庭にもある、一般的で子ども中心の生活スタイルですが、それが仕事のストレス発散(!?)にもなり、オンとオフのよい切り替えの時間となっています。

Qこれからの夢は?

森: 「ママ救命士」として、現場に復帰することです。現場では、子どもを救急搬送することもあり、多くの親御さんはパニックになっていることがほとんどです。そんな時、女性隊員としての目線、更には子どもを育てている同じ親としての目線から安心感を与えることができると考えています。そのためには、家族の理解と協力が不可欠となりますが、いつか現場に戻る日を夢見て、体力づくりや救命士としての知識・技術を低下させることなく、日々努力していきたいと思えます。

